外からきこえてくる太鼓の音に　ベランダで背伸びをして耳を傾ける
今年は踊ろうかなと　心の中で口ずさむ

すごく嬉しくて　ちょっと恥ずかしくて
なぜかなつかしい　浴衣の袖に手を通す瞬間

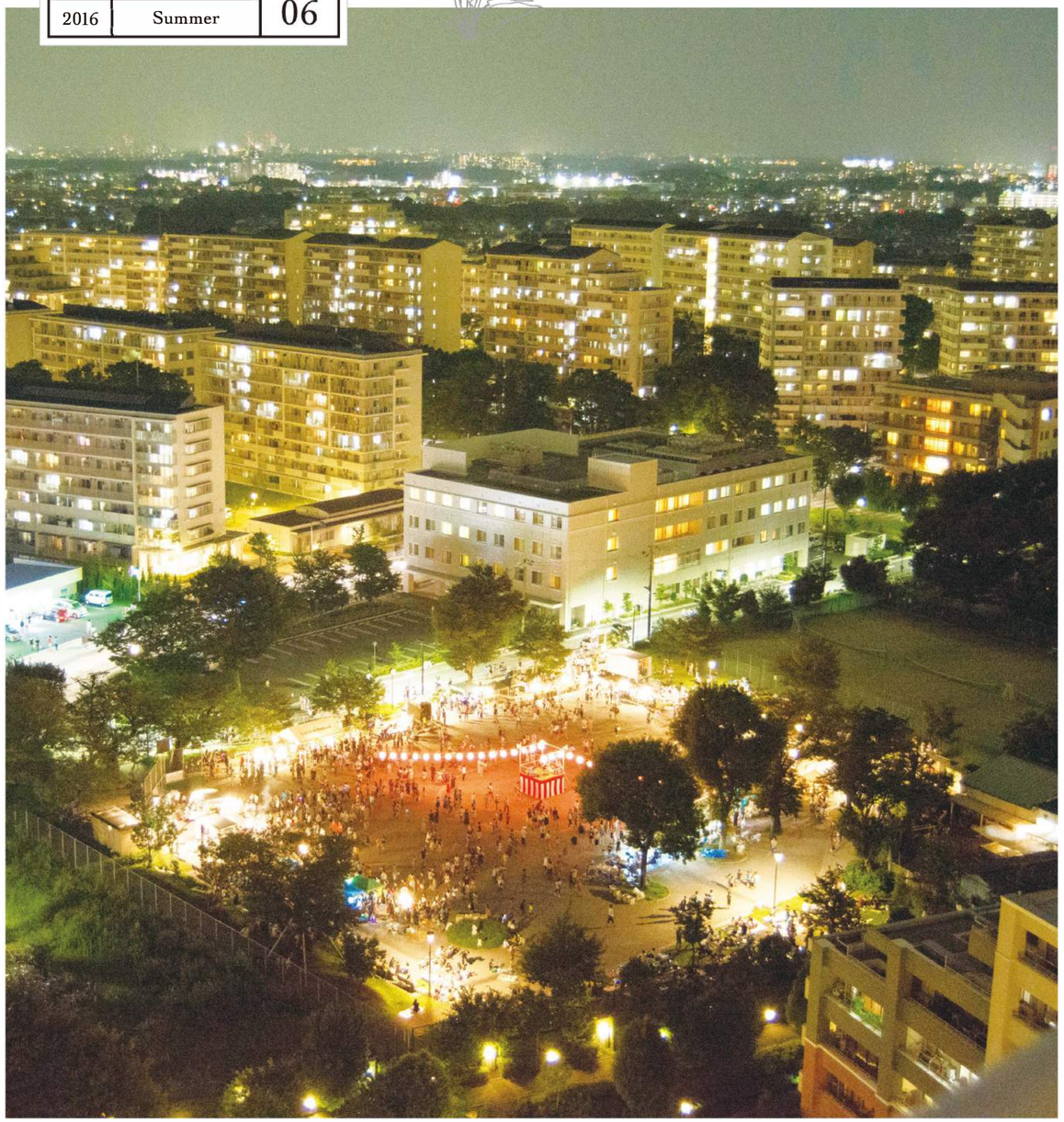
太く深い木々と　家々からこぼれてくる灯りの下を　足早にぬけて
我が子の手をひいて歩く　今

ふと見上げた夜空に　すべてが吸い上げられていく
これからも　いつまでも　この場所で夏をまといたい

ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA vol. 06
2016 Summer



A'ERU
（アエル：会える・和える）

『AERU（アエル）』は参加型のコミュニティメディアです

『AERU（アエル）』を通して、いろいろな情報や人々に「会える」。人と人がつながったら、「和える」。色とりどりの考えが混ざり合って、嬉しいことがもっともっと広がっていく。『AERU』は、ひばりが丘団地再生事業区域のエリアマネジメントを担当する一般社団法人まちにわ ひばりが丘が発信する、この街に和を描くための情報メディアです。

『AERU』では、現在こんな人や場所、情報を募集しています。

AERUの記事を
一緒に書いてくれる
ライターさん

AERUの表紙を飾る
写真を撮ってくれる
カメラマンさん

ひばりが丘の
まちの有名人情報

ひばりが丘の
あなたの
お気に入りのお店

AERUにこんなこと
載せてほしい！

お気軽に info@machiniwa-hibari.org までご連絡ください！

イベントプレイバック

これまでの まちにわ ひばりが丘 主催イベント
参加者合計 のべ **1,752** 名

ひばりが丘の暑い夏が到来！まちにわ師養成講座は第２期を実施し、10 人の方がまちにわ師２期生として本格的に活動をスタートさせています。

季節を感じられるイベントの手作りプールの開放や、緑日企画の流しそうめん、スイカ割りは大人も子どもも楽しみました。

テラス席でご友人と集まって BBQ を楽しんだり、芝生で遊んだり。ワイワイとした夏らしい時間がひばりテラス 118 に流れていました。

「街に和」の重要性

近くで暮らす人がどんな人かを知っていると、
困ったときに助け合えて、毎日がもっと楽しくなる。

1 暮らしを楽しくする

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。すぐに歩いていける距離に友人が増えると、何気ない日常に笑顔が飛び交います。

2 課題を解決できる

悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る視点があること。そんな人と人とのつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など多くの社会問題の解決につながります。

3 建物・施設管理の質を高められる

マンション管理の現場にて、議論がしづらいという声をよく聞きます。それはマンション内に良好な人間関係が築けていないから。あるイベントで顔を合わせたり、日頃から挨拶を交わしたりする仲ならば、より建設的で活発な議論がしやすくなり、スムーズな合意形成につながります。

MACHINI=WA
HIBARIGAOKA

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
編集長：高村和明
制　作：田中宏明
　　岩穴口康次、鈴木雄人（まちにわ師 AERU 編集部）
表　紙：平田武（写真：まちにわ師）
　　岩穴口亜紀（詩：まちにわ師）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
ＷＥＢ：http://machiniwa-hibari.org
発行日：2016 年 9 月 20 日

メールマガジン無料配信中！
ご登録はこちらから

月 2 回「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左の QR コードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」としてinfo@machiniwa-hibari.orgまでご連絡ください。

INFORMATION

困ったときに助け合えて毎日がもっと楽しくなる街に

ひばりテラス 118

ひばりテラス 118 オープンから１年！ NIWA JAM（にわジャム）2016 開催！

昨年 11 月にオープンしたひばりテラス 118 も、もうすぐ１周年を迎えます。そこで 10/29（土）、30（日）にイベントを開催します。その名も**「NIWA JAM（にわジャム）」**。ひばりが丘のまちを自分たちの庭に見立て、人と人とが混ざり合う場という意味が込められています。

当日は地域の産物マルシェやひばりテラス 118 の利用者によるワークショップ、まち全体を使ってのオリエンテーリングやアートイベントなども予定しています。

テーマは**「つくる、つながる、ひろげてく」**。日常のようで、非日常な雰囲気もある、不思議な空間をひばりテラス 118 にみなさんと一緒につくります。まちの暮らしを楽しむモノ・コトをぎゅっと詰め込んだ２日間、ぜひお越しください。

期　日：10 月 29 日（土）10：00 ー 21：00
10 月 30 日（日）10：00 ー 17：00
会　場：ひばりテラス 118
（東京都西東京市ひばりが丘 3–4–47）
内　容：マルシェ、ワークショップブース、音楽ステージ、まちあるきオリエンテーション、広場での野外イベントなど

NIWA JAM 2016
にわジャム 2016

にわジャム 2016 のロゴ

写真：昨年 11 月に開催したオープニングイベントの様子

地域のイベント

ひばりが丘団地自治会主催の夏祭りに ひばりが丘フィールズ３棟で参加しました！

7/16（土）、17（日）の夏祭りに、ひばりが丘フィールズの３棟のマンションにお住まいのみなさんで「アイスチューブ」屋台を出店しました。当日は行列ができるほどの人気ぶり！初めての取り組みながら、準備段階から多くの人にご協力いただきました。今回はお手伝いいただいた方の中から、藤本さん、小谷さんのお二人からお話をお聞きしました。

藤本さん

準備から当日まで、同じ地域に住んでいるという共通点があることから、スムーズに協力し楽しむことができたと感じています。また、祭りの後も、時々飲み会や、ランニングなどで交流が深まり、地元の仲間ができました。今後もフィールズはもちろん、こうした交流を通じて、地域とのつながりも生まれていけば良いと思います。

小谷さん

団地の夏祭りは毎年子どもたちと楽しみにしています。今回は声をかけていただき、出店側で夏祭りに参加しました。出店にあたり多くの方をお話しすることができ、特に団地自治会や近隣企業のみなさんの夏祭りにかける想いには感動しました。

また、マンション住民の十数名で計画･準備･実行を協力し合って行い、新たにご近所付き合いができ、本当にやって良かったと思います。今後もエリア住民の一員として関わっていけたらと思います。

まちにわ師

まちにわ師活動日誌 #1

今号からスタートした、まちにわ師の日頃の活動の様子を紹介するリレーコラム。第１回は前号で紹介した、PiPi 商店街で行われているフリーマーケット「サンデーマーケット」の取材など、つたえびと、AERU ライターとして活動されている鈴木雄人さんです！

まちにわ師　鈴木さん（左）と
サンデーマーケット主催の星さん（右）

ひばりが丘に移り住んで早１年以上が過ぎました。まちにわ師養成講座に参加をして、今年１月にまちにわ師となりました鈴木です。前号の PiPi 商店街の記事はお店のシャッターが閉まっている多さに驚いたことがきっかけでした。そこから「サンデーマーケット」を展開して奮闘している星さんにお会いし、「商店街を再び元気にしたい」「サンデーマーケットをより周知させたい」という想いを聞いて、AERU の記事作成に関わりました。このことは私の中でとても大きな喜びです。これからも、身近なところから街に和を描くお手伝いができるよう、まちにわ師として取り組んでいきたいです。

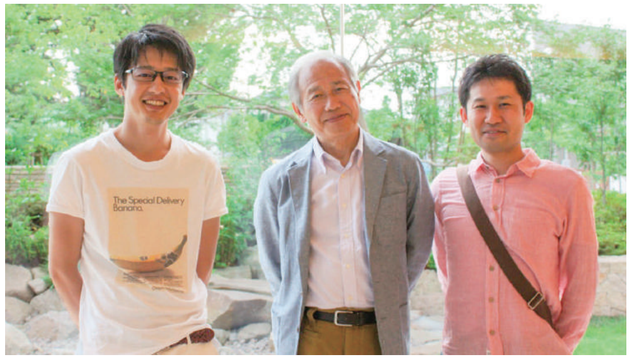
お問い合わせは以下のご連絡先まで。
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

ひばりが丘の街に暮らす人を訪ねる
A´ERU PEOPLE

「棟を超えた横の関係をつくりたい！」

コミュニティ担当理事３人に聞いた、「マンション内コミュニティづくりの挑戦」

ひばりが丘団地エリアに新たに建設された分譲マンション「ひばりが丘フィールズ１番街」。このマンションの管理組合の中には住民同士のつながりを円滑にしていく「コミュニティ担当理事」という役職があります。今回は一年間コミュニティ担当理事として活動された北村さん、木暮さん、高木さんの３人にお話をお聞きしました。



高木俊雄さん

人を集める難しさを感じた

ー「コミュニティ担当理事」という役職に就任された時、どんなイメージをお持ちになりましたか？

高木さん（以下高木） 何をやるか、具体的にはわかりませんでしたが、いろんな人たちを巻き込んで仕掛けていくのは面白そうだなと思い就任しました。でも、実際やってみると、思ったよりやることの幅がとても広かったですね。お二人はどうでしたか？

木暮大宣さん

ーこの一年間でどんな取り組みや活動をされましたか？

高木 理事として関わったイベントとしては、昨年11月に開催したひばりテラス118のオープニングセレモニーが最初かな？他にも、マンション内で行ったクリスマス会は盛り上がりましたね。

北村 ほかには入居から1周年をお祝いしたアニバーサリーパーティーを３月に開催して、約40世帯の参加者がありました。ただ、ひばりが丘フィールズ１番街の全戸数はもっと多いので、もっと参加して欲しかったという気持ちもあり、人を集めることの難しさも感じました。ただ、ほかの理事会メンバーと仲良くなれたのは嬉しかったですね（笑）。

木暮 私が主催した星の観察会は、思っていたより多くの方の参加がありました。趣味の集まりは、３棟あるひばりが丘フィールズの住民で連携したりすれば、もっと参加者が増えるのでは、と感じました。こういうイベントはぜひまたやってみたいと思います。

北村拓也さん

様々な世代でのコミュニケーションを

ーマンション内でのコミュニティづくりの課題と可能性はどこにあると感じましたか？

高木 いろいろな課題が見えてきましたね。例えば、一般的にマンション内のコミュニティは、ママ友のつながりなどは多く、団塊の世代はつながりが少ないなどの話を耳にします。様々な世代でのコミュニケーションをどうとっていくのが一番難しいですね。

北村 マンションは隣人との距離が近いので、コミュニケーションが取りやすいかと思っていたんですよね。でも実際は戸建てのように庭先が見えたり、その景観や特徴などから家と人を紐付けたりできないので、難しいなと感じました。

また、住民数が非常に多いため、最初はなかなか名前などを覚えることができませんでしたね。

木暮 今後は、まず住民の生活に近い部分の情報共有を行い、それを第一歩にしてコミュニティづくりにつなげていく方法もあると思います。マンションの住民向けHPを活用して、広報をしていかないといけないですね。ただ、今は個人情報保護などの関係で、なかなか連絡先を知ることが難しい時代です。そこを住民同士がどう繋がっていくか、それが課題ですね。

ー今後の「コミュニティ担当理事」への期待などはありますか？

高木 ひばりが丘フィールズ３棟の合同協議会のようなものがあっても良いのかもしれませんね。まずは、コミュニティ担当理事同士が繋がり、地域の活性化につなげていく。

木暮 それも、この2～3年のスタートダッシュが大切かなと思います。

北村 そういった今年できなかったことには、理事のみなさんを中心にどんどんチャレンジしてほしいですね。

A´ERU ライター
鈴木雄人 *Suzuki Yuto*
まちにわ師1期生。ひばりが丘フィールズ1番街在住。何か地元に関わるお手伝いができれば、との思いでまちにわの活動に昨年より参加し始める。

A´ERU カメラマン
岩穴口康次 *Iwanaguchi Koji*
まちにわ師1期生。おもちゃコンサルタント、おもちゃインストラクター。東久留米市南沢在住。NPOに勤務しながら、まちにわ師としても活動中。